



大砂土中だより

はつ らつ
澆 刺 と



さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.9 令和6年1月9日号

辰 年

校長 上統 昌司

新年あけましておめでとうございます。令和6年がスタートしました。今年の干支は「辰」ですね。十二支の中では唯一の架空の生き物、龍を意味します。水や海の神として祀られてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであり、「龍が現れると、めでたいことが起こる」と、伝えられてきたそうです。過去の辰年を振り返ってみると、2000年は、シドニー五輪で金メダルを獲得した高橋尚子さんの活躍がありました。2012年は、iPS細胞を発見した山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞しています。そして、今年2024年はどんな1年になるのか、どんな出来事があった、どんな人が活躍するのか今から楽しみです。

1年の始まりは「あれをやってみよう」「ここに行きたい」等と、何でも実現しそうなワクワクした気分になり、夢を思い描くことができるものです。私も、元旦には毎年目標を立てるようにしています。1年間を通じての目標を達成できた年もあれば、途中であきらめてしまったことや修正して小さな目標に変えたこともしばしばありました。また、何度も失敗を繰り返し、心が折れそうになったことも数知れずあります。その度に実感するのは「目標を達成することの難しさ」です。ただ心の中で思うだけでは、なかなか実現しないものです。達成するためには、目標を活字にし、目に見える場所に掲げておくのが効果的です。それも、実際に自分で心を込めて書き残すことがより効果的です。そう考えると「書初め」という日本古来の風習は意義があるのだと思います。生徒の皆さんは、どんな目標を立てましたか？人それぞれに思い描く夢や目標は違っても、達成しようと努力を重ねていく過程は重要で、簡単に諦めるのか、何度失敗しても挑戦し続けられるのかは、自分次第です。また、一人では達成できない目標もあると思います。仲間と協力して挑戦していくことで、お互いのもてる力を引き出し合うことができ、より一層自分自身を高めることもできますね。たとえ叶うことがない夢であっても、夢をもち続けることも大切です。心の片隅にあるだけで、安らぎに変わる時もありますから。

この節目の1年の始まりに、一人ひとりがしっかりと未来を見据え、大砂土中学校の生徒みんなが、大いに活躍することを心から願っています。

最後に、保護者の皆様、地域の皆様、3学期も大砂土中学校の教育活動につきまして、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。